

令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア	
			国語	数学	国語	数学	理科	
3年	学校	52	51	42	7.4	12.7	学校	
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	大阪市	
2025.4.17	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	全国	

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	69	62.2	42.9	48.6	40.5	44.1	6.8	6.5	12.1	10.0	7.4
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	48.2	54.4	6.1	5.8	11.1	8.6	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	48.1	53.2	5.7	5.5	11.7	6.8	6.0
2年	学校	59	54.0	37.3	49.3	39.8	43.6	9.4	6.9	10.0	5.1	9.3
	大阪市	—	65.2	45.0	56.0	47.9	52.4	6.6	5.6	10.3	4.2	6.9
1月14日	大阪府	—	64.5	44.3	55.0	46.7	51.8	7.3	6.3	11.7	5.0	7.6
1年	学校	68	50.9	50.7	49.9	45.9	48.2	17.8	6.4	13.0	8.5	10.1
	大阪市	—	63.3	58.3	57.6	63.0	66.5	9.1	3.0	7.6	3.7	4.1
1月14日	大阪府	—	63.1	—	56.7	—	65.2	10.2	—	8.8	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は物理的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択

※ 3年生の理科はA問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
3年	学校	69	111.6	101.9	152.1	82.3
10月24日	大阪市	—	117.9	110.2	146.4	98.4

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
2年 男子	学校	28.36	30.24	41.55	48.71	74.04	—	8.35	188.04	20.67	38.21
	大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	80.14	—	8.06	195.02	20.28	41.69
	全国	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	—	8.00	197.51	20.74	42.20
2年 女子	学校	24.41	28.91	50.45	41.41	55.94	—	9.14	173.33	12.35	51.25
	大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	53.12	—	9.03	166.76	12.20	48.14
	全国	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	—	8.97	166.44	12.43	47.58

令和7年度 淀川中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>全国と比較して、知識及び技能の分野で「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容において0.5ポイント高かった。思考力、判断力、表現力等の分野ではすべての内容において平均正答率を下回ったものの、「書くこと」の内容において差が小さかった。一方、「読むこと」の内容では差が大きく、課題があるという結果であった。

<数学>全国と比較して、すべての領域において平均正答率を下回ったものの、「図形」の領域において差が小さかった。一方、「数と式」の領域では差が大きく、課題があるという結果であった。

<理科>全国と比較して、平均IRTスコアが40ポイント下回るという結果であった。

<生徒質問紙>「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、最も肯定的な回答をした生徒が全国平均と比べ4.8ポイント高かった。また、「国語の授業の内容はよく分かりますか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」「理科の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して、最も肯定的な回答をした生徒が全国平均と比べ、「国語」は同ポイントであったが「数学」、「理科」に関してはそれぞれ3.7ポイント、13.3ポイント高かった。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

平均点は大阪府と比較して、国語で2ポイント、社会で8ポイント、数学で5ポイント、理科で7ポイント、英語で9ポイント下回る結果であった。国語において「話すこと・聞くこと」の領域では一定の成果が見られたものの、「読むこと」の領域では課題があった。社会において「地理的分野」の領域では一定の成果が見られたものの、「歴史的分野」の領域では課題があった。数学において「関数」の領域では一定の成果が見られたものの、「数と式」の領域では課題があった。理科において「エネルギー」と「生命」の領域では一定の成果が見られたものの、「粒子」の領域では課題があった。英語において「読むこと」の領域では一定の成果が見られたものの、「書くこと」の領域では課題があった。

○中学生チャレンジテスト、チャレンジテストplus(1年生)

平均点は大阪府(国語、数学、英語)、大阪市(理科、社会)と比較して、国語で12ポイント、社会で7ポイント、数学で7ポイント、理科で17ポイント、英語で17ポイント下回る結果であった。国語において「情報の扱い方に関する事項」の領域では一定の成果が見られたものの、「読むこと」の領域では課題があった。社会において「地理的分野」の領域では一定の成果が見られたものの、「歴史的分野」の領域では課題があった。数学において「図形」の領域では一定の成果が見られたものの、「数と式」の領域では課題があった。理科において「生命」の領域では一定の成果が見られたものの、「エネルギー」の領域では課題があった。英語において「聞くこと」の領域では一定の成果が見られたものの、「読むこと」の領域では課題があった。

○中学生チャレンジテスト(2年生)

平均点は大阪府と比較して、国語で11ポイント、社会で7ポイント、数学で6ポイント、理科で7ポイント、英語で8ポイント下回る結果であった。国語において「情報の扱い方に関する事項」の領域では一定の成果が見られたものの、「読むこと」の領域では課題があった。社会において「歴史的分野」の領域では一定の成果が見られたものの、「地理的分野」の領域では課題があった。数学において「図形」の領域では一定の成果が見られたものの、「関数」の領域では課題があった。理科において「地球」の領域では一定の成果が見られたものの、「粒子」の領域では課題があった。英語において「聞くこと」の領域では一定の成果が見られたものの、「書くこと」の領域では課題があった。

○大阪市英語力調査(GTEC)

今年度、全てにおいて前年度より得点がupした。しかし、大阪市の平均に届かないところもあり、継続的に基礎力向上に努めていきたい。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

男子は「上体起こし」の結果が全国平均、大阪市平均を上回った。

女子は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」の結果が全国平均、大阪市平均を上回った。また、「体力合計点」においても全国平均、大阪市平均を上回った。課題としては、男女ともに平均以下の種目が複数あった。男女それぞれ課題を明確にし、今後は指導の工夫を図りながら結果の改善に努めていきたい。

【今後に向けて】

○授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた取組として、「ICT機器をさらに用いた授業」、「主体的で対話的な深い学び」の授業改善を推進する校内研修を引き続き行う。

体力向上については、今年度の結果を維持できるよう指導していきつつ、授業の中でストレッチ運動を加えながら、より柔軟性、瞬発力を高め、筋力をつける運動を実施する。

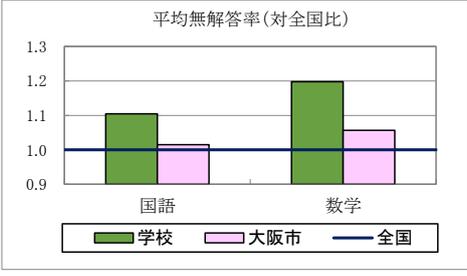
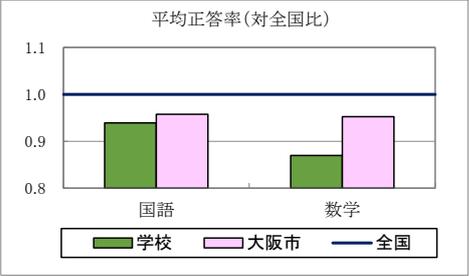
令和7年度 淀川中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	51	42
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	7.4	12.7
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6

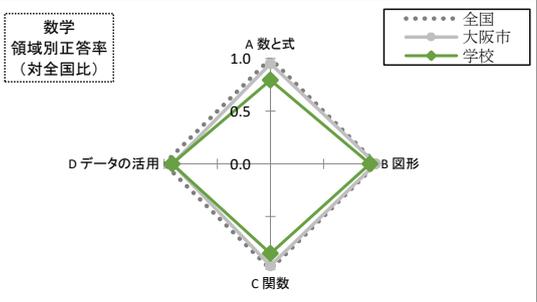
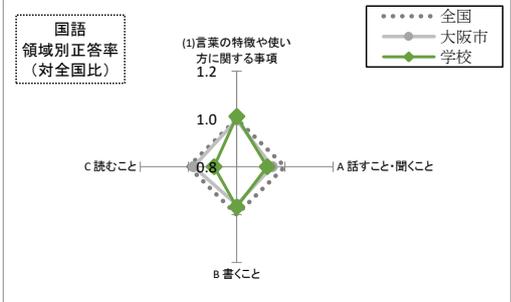
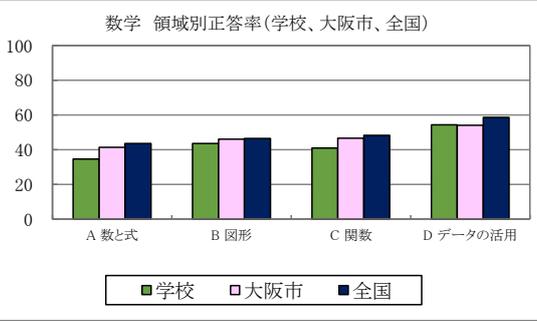
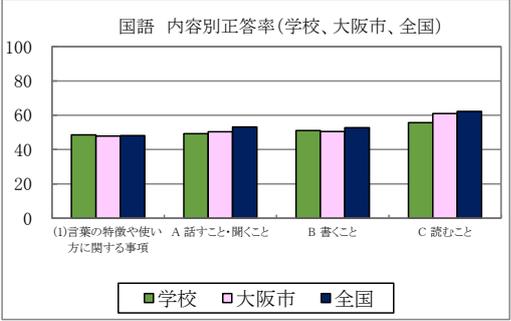


【 国 語 】

【 数 学 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	48.6	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	49.3	50.4	53.2
B 書くこと	5	51.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	55.7	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	34.6	41.4	43.5
B 図形	4	43.6	46.1	46.5
C 関数	3	41.0	46.6	48.2
D データの活用	3	54.3	54.0	58.6

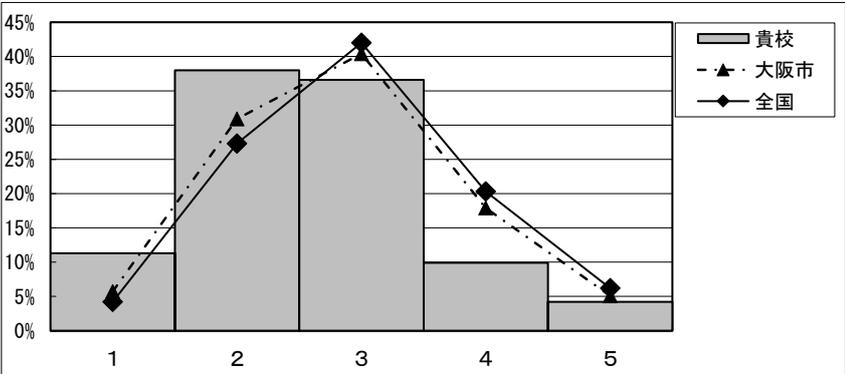
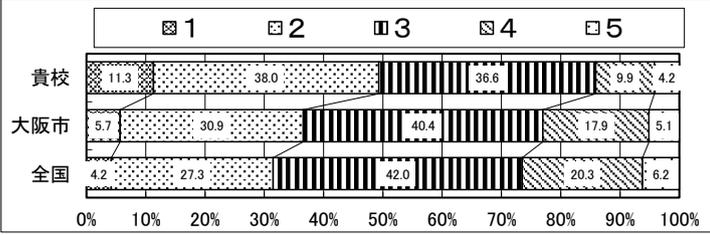


令和7年度 淀川中学校のあゆみ
 —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	463
大阪市	489
全国	503



令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

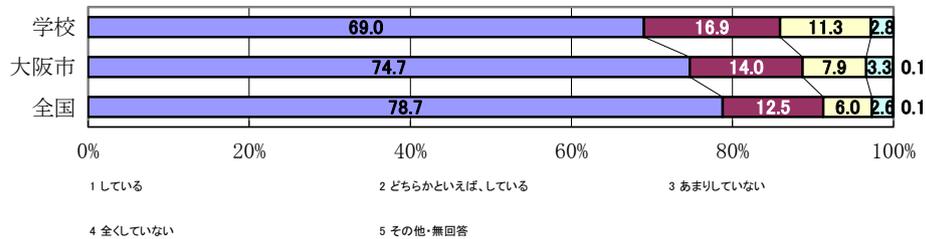
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

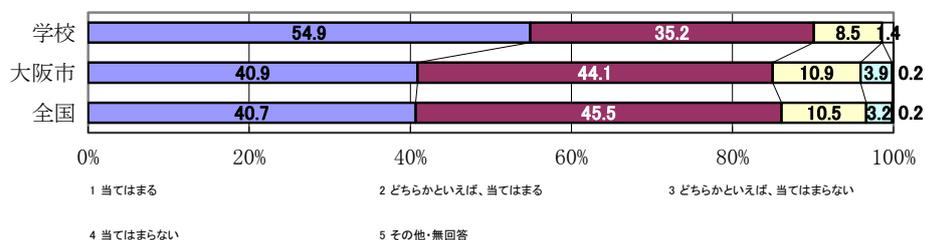
1

朝食を毎日食べていますか



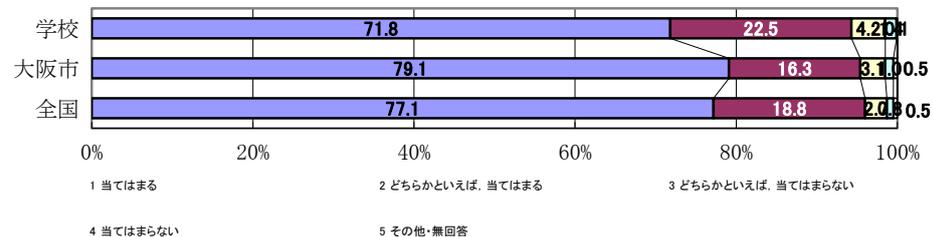
5

自分には、よいところがあると思いますか



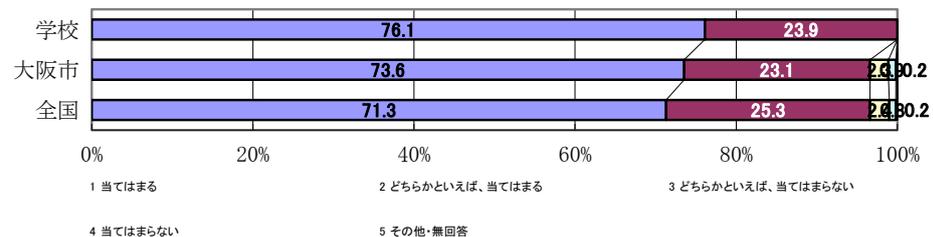
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



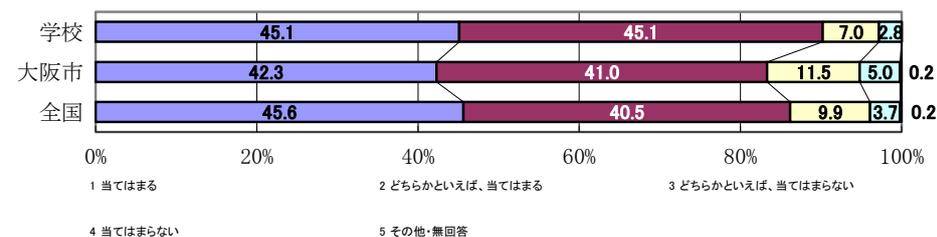
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

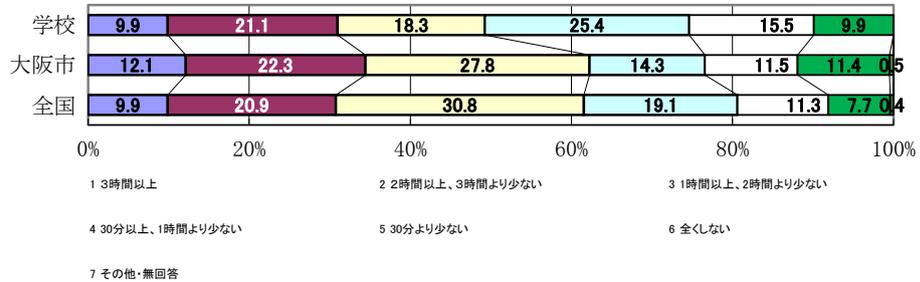
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

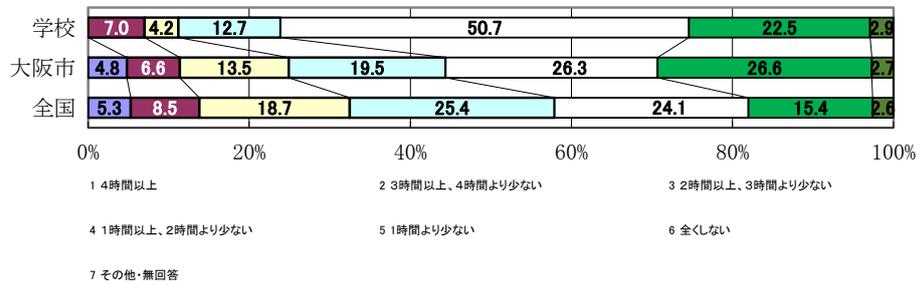
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



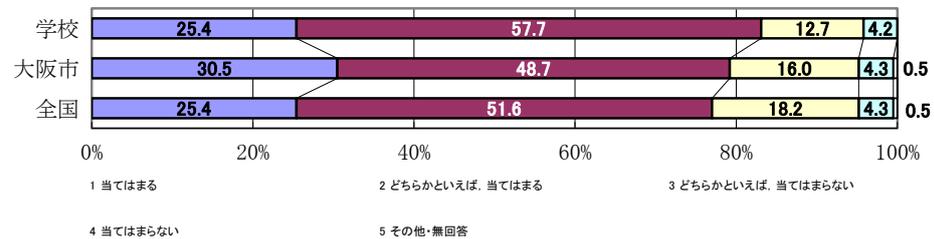
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



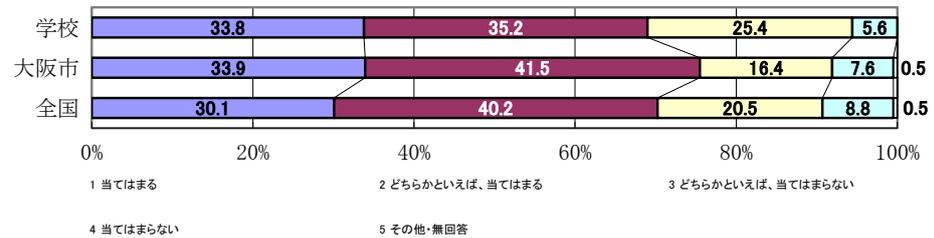
46

国語の授業の内容はよくわかりますか



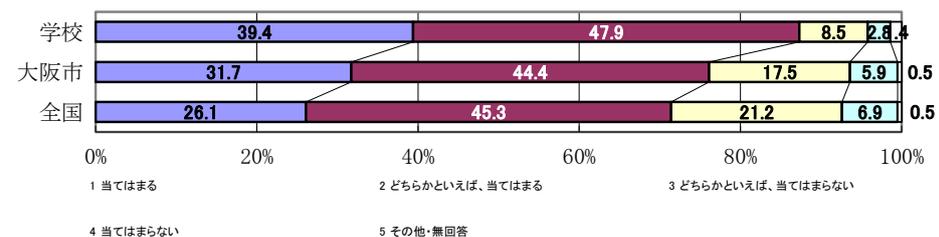
54

数学の授業の内容はよくわかりますか



62

理科の授業の内容はよくわかりますか



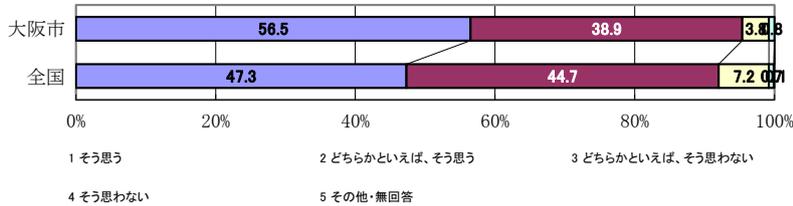
令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より



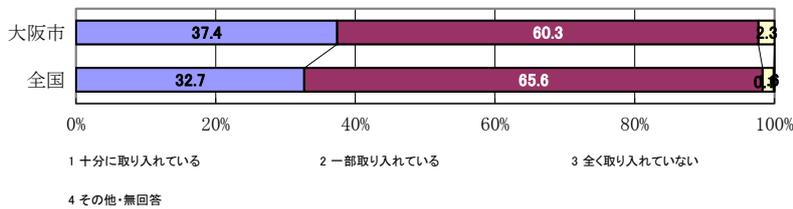
質問番号
質問事項
8
調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



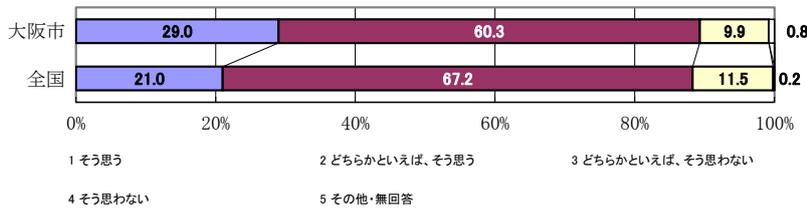
質問番号
質問事項
13
ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

学校 「十分に取り入れている」を選択



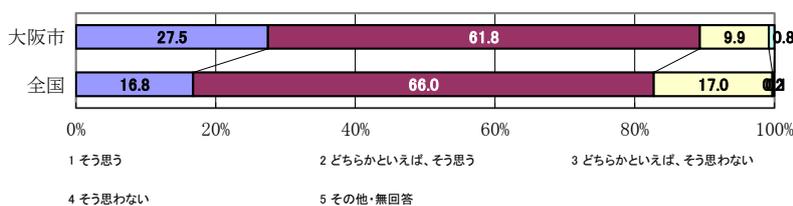
質問番号
質問事項
25
調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



質問番号
質問事項
26
調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



質問番号
質問事項
84
令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

学校 「よく行った」を選択

